

令和5年

雲南市議会3月定例会  
会派代表質問通告一覧表

【会派代表質問日程 令和5年3月2日】

令和5年雲南市議会3月定例会 会派代表質問通告一覧表 目次

順番	日程	会派名	質問者		質問方式	ページ
			議席番号	氏名		
1	3月2日(木) 午前9時30分～	政友クラブ	11	松林 孝之	一括	1～4
2		雲南木鶏の会	3	児玉 幸久	一括	4～6

令和 5 年雲南市議会 3 月定例会 会派代表質問通告一覧表

令和 5 年 2 月 24 日

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	政友クラブ 松林 孝之 (一 括)	1. 市政課題に臨む 基本姿勢について  2. 令和 5 年度当初 予算について  3. 人口減少対策に ついて	<p>(1)任期の後半となる令和 5 年度がスタートする。令和 4 年度はコロナ対応と災害復旧を急務とし「復興元年」と位置付けて市政運営を展開するとされた。本年 5 月からのコロナ感染症の第 5 類への移行、災害復旧も一定の進捗がある中、最も力点を置く施策は何か。</p> <p>(1)令和 5 年度当初予算は、歳入不足を補うために多額の財政調整基金や減債基金を繰り入れ、合併後過去最大規模の予算であるが、歳出の核となる目玉事業は何か。</p> <p>(1)【自然増減の取り組み】</p> <p>①国が示す異次元の少子化対策について、内容は未確定ではあるが何を望むのか。</p> <p>②全国で様々な支援策が展開されると想像するが、どこにも負けない雲南市ならではの少子化対策は何か。</p> <p>③本市の婚姻届数は年々減少の傾向である。婚活事業を民間と共同で企画し地域内経済の循環にもつながるよう定期的かつ継続的に展開すべきでは。</p> <p>④自然減の大きな要因のひとつに死亡者数の増加がある。団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年問題が迫る中、元気な高齢者創出事業は。</p> <p>(2)【社会増減の取り組み】</p> <p>①加茂町教育振興会では、加茂町在住の高校生及び大学生に対する奨学金貸付事業において故郷への定住促進の観点から、当奨学金の返還に際し、本市に在住または U ターン者に半額免除する制度が導入されている。当制度を参考に</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		4. 産業振興について	<p>UI ターンの促進事業として全市域対象の奨学金の返済補助事業を創出してはどうか。</p> <p>②「売れる住宅団地整備と若者が選ぶ市営住宅整備」は大きなアドバンテージとなる。今後の定住促進住宅整備において若者をターゲットとしたコンセプトを加え、これまでの市管理住宅との差別化を図る等工夫をしてはどうか。</p> <p>(1) 【農林業】</p> <p>①農業振興ビジョンに「経営体質強化」として、人材発掘と共にロボットやAI、IoTの先端技術を活用し省力化技術の導入を進める必要があるとのことであるが、実現且つ持続は可能か。</p> <p>②林業振興ビジョンの全体方針として「森を未来につなぐ(循環、還流)」とされているが、林業は儲かる事業として循環しなければ継続しないと考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 【商工業】</p> <p>①新型コロナウイルスが蔓延しは丸3年が経過し、国、県、市より様々な支援策が展開された。感染症5類への移行が区切りではあるが、コロナ前の状態に戻るにはしばらく時間がかかる。今後も変異株等による感染拡大が起こりうるが、支援策は打てるのか。</p> <p>②アフターコロナに特化した市内経済好循環事業の具体策は。</p> <p>③企業団地整備と地元企業のマッチングについて</p> <p>ア) 神原企業団地の2期目の企業誘致活動の状況は。</p> <p>イ) 誘致企業と地元企業の業務連携は重要である一方、地元事業者の人材流出等の業務圧迫があってはならないが対策は。</p>	



質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			リットル)にてバイオディーゼル燃料を精製し、岐阜県中津川市では民間事業者と連携し、同燃料の生成をし、カーボンニュートラル事業として実施している。本市も SDGs の推進に向け取り組みを検討してはどうか。	
2	雲南木鶏の会 児玉 幸久 (一 括)	1. 人口減少・少子 化対策	<p>(1)この2年間における人口動向をどのように捉え、どのように評価しているか。また、石飛市長は課題解決に向け、今後、どのような考えで取り組みを進めていくか。</p> <p>(2)本市の目標人口として、総合戦略においては令和6年において36,500人とされている。少なくとも、この2年間は、人口減少対策の重点期間として関連予算も大幅に拡充し、取り組みを強化していくべきではないか。</p> <p>(3)これまでも様々な対策事業を行ってきたが、効果が高い事業を重点的に展開していくべきである。</p> <p>①これまで実施してきた事業のうち、どのような事業が効果が高いと認識しているか。</p> <p>②今後、どのような事業に特に力を入れていく考えか。</p> <p>(4)日本の総人口が減る中で、2020年国勢調査結果では人口を増やした市町村も約300自治体ある。これらの自治体の多くに共通するのは充実した子育て支援で若い世代を呼び込み、また、地元で生まれる子供の数が増加している点である。</p> <p>①本市における子育て支援策について、課題はないか。</p> <p>②他の市町村に負けないようなアピール度の高い支援策を打ち出していく必要があるのではないか。</p> <p>(5)若者や女性のニーズにあった対策を講じていくことが肝要。鳥取市で行っ</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		2. 持続可能なまち づくり	<p>ている「若者会議」のような取り組みも参考にし、若者や女性が参画できる仕組みを人口減少・少子化対策組織の一つとし、そこで出された要望やアイデアを施策・事業に反映させていく仕組みが必要ではないか。</p> <p>(6) 居住支援は、効果が高い対策であり、今後も力を入れていくべきと考える。</p> <p>① 空き家の有効活用も進めていく必要がある。市内では、空き家が発生しても、すぐに新たな入居がある地区もある。要因をしっかりと分析し、効果的な支援策を打つべきではないか。</p> <p>② 三世帯同居の支援策として、親世代の家と同じ敷地内、あるいは近接した土地に子育て世帯の家を新築する場合の支援についても検討が必要ではないか。</p> <p>(7) 移住者の雇用の確保、地域の担い手確保として期待されている特定地域づくり協同組合。本市においても一つの組合が設立されたが、まだ機能していない。何が課題か。また、今後の本市における展開についてどう考えているか。</p> <p>(1) 人口減少は幅広い分野において大きな影響を及ぼす。人口減少社会においても、住民サービスの低下を招かないことが必要であるが、財政運営上の課題は何か。</p> <p>(2) 中期財政計画において、当面、基金の取り崩しで財政運営を行うこととなっており、財政調整基金・減債基金は、令和9年度には、令和3年度の1/5程度まで減少する見通しとなっている。安定した財政運営を行ってかなければならないが、市の考えは。</p> <p>(3) 合併特例債も令和6年度で終了となる。公共施設の除却については、令和7年度以降も行っていくものもあると思うが、</p> <p>① 令和7年度以降は、どのような財源の活用を考えているのか。</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>②国に対して、しっかりと財政支援の要望をしていく必要があると考えるが、市の考えは。</p> <p>(4)ふるさと納税が順調だ。税収増に加え地元産品のPRにもつながり一石二鳥である。競合自治体は多いが、本市のふるさと納税の戦略を伺う。</p> <p>(5)中期財政計画において普通建設事業が激減する見通しとなっている。建設業は本市の主要産業であるばかりでなく、冬季の除雪や災害時の復旧になくてはならない産業だ。事業費の平準化が必要ではないか。</p>	